



# まなづる

No. 37

〒259-0202 神奈川県足柄下郡真鶴町岩244-1 電話0465-68-1131(内線362~363)  
info-center@town-manazuru.jp

ご意見ご感想をお寄せください。



## 神奈川県真鶴町議会

石畳にも真鶴らしさが!!

さて、どこにあるの? 答えは、16ページに。

### 一般質問

- 道路照明の設置見直しを! ... 12p
- 高齢者を肺炎から守ろう! ... 12p
- 消防の広域化はどうするの? ... 13p
- 補助金を減らすな! ... 13p
- 町民に開かれた診療所のこれからは? ... 14p
- 危機管理は町民との協働作業! ... 14p

9月議会報告 ... 2~5p  
委員会報告 ... 6~7p  
決算報告 ... 10~11p

発行/真鶴町議会

編集/議会だより編集委員会



## 9月議会報告

9月5日～7日 定例会開催

9月議会は前年度（平成23年度）の収支報告（決算）や補正予算などについて審議しました。

## 議案第31号

平成24年度真鶴町一般会計補正予算（第2号）について

全員賛成

**村田** 社会資本整備総合補助金は津波ハザードマップ改訂補助となっているが、当町だけでなく隣接する地域までハザードマップに載せられるか？

**危機管理課長** 真鶴町のハザードマップのもととなる県の浸水予測地図に記載されている部分については写し取ることは可能です。作成のため、真鶴町の白図1万分の1で落とせる部分については写し取ることはできます。

**青木** 防災ラジオ購入受益者負担分について、町民からの申込により注文書が出ている訳だが全額立替し、各個人からの支払いがあったら次で補正をするのか？

**危機管理課長** 雜入で受益者負担分を予算計上しています。申込者に対し納付書を今年度中に送付し、支払いをいただき納品後、領収書を持って品物と交換する予定です。

**青木** 追加購入希望者があり、500台に満たない場合の価格は？

**危機管理課長** 追加の補充については今のところ検討していません。購入については500台を超えないと安くはなりません。

**二見** 街灯新設事業について、新設する際の基準はあるのか？

**まちづくり課長** 新設の要望があった場合、30m以内に街灯があるかないかなど状況を確認した中で設置しています。

## 認定第1号

決算の認定について（平成23年度真鶴町一般会計決算）

全員賛成

**村田** 宮の前集会所の年間使用実績は？

**総務課長** 一階は観光協会が使用し常時使われています。二階は集会施設として地元自治会などで使われています。施設は老朽化が進んでいるため改修工事を行いました。

**村田** ドクターヘリの運用実績は？

**介護健康課長** 平成22年10月から平成23年9月までの一年間の利用状況は当町では1件です。町外の利用件数は山梨県内で52件、神奈川県内で222件です。

**村田** 地域自殺対策緊急強化事業の消耗品費の内容と、今後町としてどう取り組んで行くのか？

**福祉課長** 消耗品費は啓発ということ、チラシ配布、ノボリ、配布用ティッシュペーパーなどです。年間を通して啓発活動をしていきます。国や県で電話相談を行っていますので町民への周知もしていきます。

**村田** 岩海水浴場運営事業について水難事故はあったのか、また医薬材はどのような物を用意しているのか？

**産業観光課長** 事故はありませんでした。医薬材は消毒液、ガーゼなど簡単なものを整備しています。

**板垣** 総務管理費普通旅費が前年より約123万円増えている理由は？

**総務課長** 増額の主な内容は東日本大震災被災地支援のための職員派遣で延



町民音楽祭（真鶴中学校吹奏楽部）

## 収納対策課の効果

## 質疑応答



町民音楽祭（まなづる小学校4年生）

# 徴収率あがる!!

べ人数13人、延べ日数87日と、世界都市デザインサミット参加旅費などです。

**板垣** 職員研修費が前年より約27万円減っているが、研修内容に変更があったのか？

**総務課長** 職員研修については大きく3つの研修があります。減額となっているのは庁内で行った研修の回数が減ったためです。

**板垣** 青少年育成連絡会補助金の中で宿泊体験学習の参加者が40人から23年度は21人と減っているが、開催方法などの変更があったのか？

**生涯学習課長** 内容の変更はなく、グループでの参加など、年度により増減があり、24年度については30名を超えています。

**板垣** 公債費について、返済のピークはいつになるのか。また、付属資料を見やすくしたらどうか？

**企画調整課長** 返済のピークは情報センターの償還が終了する25年度です。それ以降については毎年減っていきます。資料については来年度に向けて調整していきます。

**神野** 市民後見制度について市民後見人を養成していこうとなっているが、町としてどのように養成していくのか？

**福祉課長** 市民後見制度は資格を持っている人が代理行為を行います。市民後見制度の拡充が国の考えとなっていますが、町としては一般人の方に代理行為を行ってもらう事までは今のところ考えていません。

**神野** 付属資料の中で維持補修費が増えている。施設の維持だというのが計画的に行っているのか？

**企画調整課長** 各所管で維持管理の計画を立て、予算編成の際実施しています。使用状況をみながら予算をたてています。交付金がおりましたという事で対応できる維持補修をしたため増えています。

**神野** 町の補助費で事業が20近くあるが、今後行財政改革の中で仕分けをする必要があると思うが？

**企画調整課長** 団体への補助など扶助的な補助もあり、それぞれの所管において内容を精査し交付していきます。

**岩本** 住宅使用料収入未済額が増えているが現在の状況は？

**福祉課長** 住宅使用料の該当者は2件分です。1件分については退去されています。他、1件に対しては条例、規則に基づき最終勧告をしているところがあります。

**岩本** 予防接種委託料は昨年に比べ増えているが予防接種の種類、接種人数は？



# 質疑応答



まなづる小学校運動会

**介護健康課長** 前年比大幅増は任意接種の3ワクチンが重要性の関係から先行実施されたためです。種類、人数は三種混合135人、MR（二種混合・麻疹と風疹のワクチン）158人、日本脳炎170人、ポリオ55回、ヒブ73人、小児用肺炎球菌104人、子宮頸がん108人などです。

**岩本 街灯管理事業**では電気料が30万円増えている。昼間点灯している街灯が散見されるが電気料に反映しているのか？

**まちづくり課長** 街灯本数は22年度の1439本から23年度の1442本と前年に比べ3本しか増えていません。月額使用料は定額で、単価は平均で1本230円です。前年1本223円だったのが現在230円に上がったこと

が影響していると思われます。

## 認定第2号

**決算の認定について（平成23年度真鶴町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算） 全員賛成**

**神野 不納欠損**については決算審査意見書にもあったが前年に比べ増えている。詳しい内容は？

**収納対策課長** 主なものとして即時消滅6件、時効かつ所在不明等による消滅88件などです。単に時効による不納欠損については税負担の公平性から問題があり、日頃から財産調査をし、差し押さえ処分などを行い、税負担の公平性が損なわれないように適正な処理に努めています。

## 認定第3号

**決算の認定について（平成23年度真鶴町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）決算） 全員賛成**

全員賛成

**村田 外来収入、患者数の減**についてどのように分析しているのか？

**診療所事務長** 内科医がいなくなり外科医一人だったことが原因です。新しい体制の中で院内の環境を変えたり宣伝等に努力



議員も防災訓練

## 認定第5号

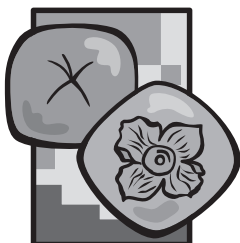
**決算の認定について（平成23年度真鶴町魚座・ケープ真鶴特別会計決算） 全員賛成**

**青木繁 ケープ真鶴付属施設のシーフロントの未収額90万円は**どうなったのか？また新たな契約者との契約はどうなっているのか？

**産業観光課長** 平成22年度まで前所有者と賃貸契約をしていました。建物管理などの状況に観光客からクレームなどがあり何度か注意をしてきました。それらを受け23年度は契約に当たり他の町民の希望もあり、町顧問弁護士とも相談して、2～3年期間を定めた契約を交渉しましたが、話がまとまりませんでした。未収金については再三申し入れをしています。しかしいまだに未収であり、現在にいたっています。関係者を交えて話し合っています。と思っています。

新たな契約者については貸付ではなく使用許可となっています。毎年更新ということで一年間の使用許可を与え賃貸借契約とは別です。

\*質疑：応答は一部を掲載しています。



平成24年 9月定例会 審議結果

会期(2012年9月5～7日)

審議結果

| 議案番号   | 議 案                                      | 採決者数 | 賛成 | 反対 | 議決結果 | 板垣由美子 | 村田知章 | 高田昇 | 海野弘幸 | 青木繁 | 岩本克美 | 神野秀子 | 二見和幸 | 青木 巖 | 草柳 昭          | 岡ノ谷佳子 | 黒岩 宏次 |
|--------|------------------------------------------|------|----|----|------|-------|------|-----|------|-----|------|------|------|------|---------------|-------|-------|
| 議案第31号 | 平成24年度真鶴町一般会計補正予算(第2号)について               | 11   | 11 | 0  | 可    | ○     | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    |               | ○     | ○     |
| 議案第32号 | 平成24年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)について | 11   | 11 | 0  | 可    | ○     | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    |               | ○     | ○     |
| 議案第33号 | 平成24年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算(第3号)について | 11   | 11 | 0  | 可    | ○     | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    |               | ○     | ○     |
| 議案第34号 | 平成24年度真鶴町下水道事業特別会計補正予算(第1号)について          | 11   | 11 | 0  | 可    | ○     | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    |               | ○     | ○     |
| 議案第35号 | 平成24年度真鶴町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について         | 11   | 11 | 0  | 可    | ○     | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    |               | ○     | ○     |
| 議案第36号 | 平成24年度真鶴町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について        | 11   | 11 | 0  | 可    | ○     | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | 議長は採決には加わりません | ○     | ○     |
| 認定第1号  | 決算の認定について(平成23年度真鶴町一般会計決算)               | 11   | 11 | 0  | 認    | ○     | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    |               | ○     | ○     |
| 認定第2号  | 決算の認定について(平成23年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)決算) | 11   | 11 | 0  | 認    | ○     | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    |               | ○     | ○     |
| 認定第3号  | 決算の認定について(平成23年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)決算) | 11   | 11 | 0  | 認    | ○     | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    |               | ○     | ○     |
| 認定第4号  | 決算の認定について(平成23年度真鶴町下水道事業特別会計決算)          | 11   | 11 | 0  | 認    | ○     | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    |               | ○     | ○     |
| 認定第5号  | 決算の認定について(平成23年度真鶴町真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計決算)     | 11   | 11 | 0  | 認    | ○     | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    |               | ○     | ○     |
| 認定第6号  | 決算の認定について(平成23年度真鶴町介護保険事業特別会計決算)         | 11   | 11 | 0  | 認    | ○     | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    |               | ○     | ○     |
| 認定第7号  | 決算の認定について(平成23年度真鶴町後期高齢者医療特別会計決算)        | 11   | 10 | 1  | 認    | ○     | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    |               | ○     | ×     |
| 認定第8号  | 決算の認定について(平成23年度真鶴町水道事業会計決算)             | 11   | 11 | 0  | 認    | ○     | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    |               | ○     | ○     |
| 報告第3号  | 平成23年度決算に基づく真鶴町健全化判断比率について               |      |    |    | 報    |       |      |     |      |     |      |      |      |      |               |       |       |
| 報告第4号  | 平成23年度決算に基づく真鶴町資金不足比率について                |      |    |    | 報    |       |      |     |      |     |      |      |      |      |               |       |       |

採決結果 ○=賛成 ×=反対 退=退席 欠=欠席(遅刻・早退を含む) 除=除斥  
 議決結果 可=可決 否=否決 承=承認 認=認定 同=同意 報=報告 採=採択 趣=趣旨採択 不=不採択

# 委員会報告

## 議会運営委員会

議会運営委員会では、議会改革について、次のとおり検討しています。

1. 議会関係〔先例集〕の見直しと編集

先例集の原稿を、全委員が各自で、その後グループに分かれ内容を精査し、赤字で加筆作業をする。

確認事項は次のとおり「町村議会の運営に関する基準」（議員必携）に合致しているか。

条文は正しい配列になっているか。

真鶴町議会の他の条例・規則と合致しているか。

過去の事例が記載されているか。など提出期限を決めてスピーディーに完了する。

2. 議会報告会のあり方、各種団体等との意見交換会について

①議会報告会の開催は、25年5月以降とし、報告内容は、3月議会の予算審議に関することとする。そのためのスケジュール

を検討する。

具体的な作業としては、会場予約、宣伝（議会日より、ホームページ、町広報、ポスター、地方紙、ちらし等）、資料作成（資料による予算報告）、役割分担（司会者、報告者、記録者）等

②各種団体等との意見交換会は、今年度は7月13日に自治会連合会との懇談会を開催した。各種団体からの要請があった場合に検討する。

3. 請願書、陳情書は会期中に結論を出せるようにする。

25年度以降の定例会において会期の延長等を導入するか否か調査研究した上で検討する。

4. 議長選挙の立候補制導入の検討

来年9月の議員改選選挙後に実施できるよう他市町村の事例を参考に、真鶴町議会になじむような議長選挙の方法を検討する。

## 議会改革特別委員会

議会改革特別委員会は真鶴町議会の活性化に向け、調査を完了するまで月2回開催していく予定です。これまで検討された内容、結果については、次のとおりです。

### 第1回 議会改革特別委員会

7月13日

①正副委員長の選任について  
委員長は岡ノ谷佳子、副委員長は板垣由美子と決まりました。

### 第2回 議会改革特別委員会

8月29日

今後の検討項目について  
1. 一般質問のあり方  
2. 議員定数他  
3. 決算特別委員会の設置  
4. 議会費の検討  
5. 議員期末手当  
6. 議会のIT化の研究  
本会議を動画として録画しインターネットから視聴できるようにする等

### 第3回 議会改革特別委員会

9月14日

①一般質問のあり方について  
一問一答形式の質問方法など

### 第4回 議会改革特別委員会

9月28日

①議員定数他について  
来年9月の町議会議員の任期満了に伴い、議員定数について論議をした。  
今後、町民のみなさまからの意見を参考に、3月には結論を出す予定です。

### 第5回 議会改革特別委員会

10月15日

①議員定数他について  
町民からの意見収集の具対策について論議した。  
アンケートを議会日よりに挟み、ご意見をいただく。また、他の方法については意見が分かれ、今後検討していく。  
②決算特別委員会の設置について  
設置の必要性など、論議し、今後検討していく。

### 第6回 議会改革特別委員会

10月30日

①政務調査費の設置について  
設置の必要性など、論議し、今後検討していく。

議会改革特別委員会委員長  
岡ノ谷佳子

## おねがい

議員定数についてのアンケート用紙が15ページにのせてあります。多くの皆様からのご意見をお待ちしています。

## 議会を傍聴してみませんか

次の議会は  
定例会12月14日(金)の  
予定です。



真鶴地域情報センター  
でも議会中継をしています。



## 広域行政特別委員会

下水処理負担金で、湯河原町と協議書の調印式

7月30日に、真鶴町役場内において、平成24年度以降の真鶴町の下水処理負担金に係る協議書の調印式が行われました。

これは、平成4年度湯河原町が汚水の受け入れを決定し、平成19年3月28日より真鶴町の公共下水道の供用が始まりました。同年行われた下水処理に係る真鶴町の負担額の協議書は、23年度までの定めであったために、このたび24年7月4日から27年3月31日までについての協議書の調印を行いました。これにより、実水量の負担のみとなりました。

広域行政特別委員会委員長

青木 繁



## 議会だより編集委員会

町村議会広報研修会に参加

東京都千代田区にある砂防会館で、7月30～31日に議会広報の研修会がありました。全国から町村の議会議員が多数集まりました。真鶴町からは、議会委員長が参加しました。

研修の内容は、文章をわかりやすくする書き方や、広報誌の



全国からたくさんの議員が！

議会だより編集委員会委員長

村田知章

レイアウト表現や写真の撮り方のテクニックなどです。また、全国のいくつかの町村の議会だよりを見本に、講師に論評してもらった学習の場もあり、とても参考になりました。

ちよつとの工夫で、読みやすさも変わってきます。読みやすさは文章力だけではなく、レイアウトも重要なポイントになります。これからの読みやすい議会だよりのために研鑽に努めてまいりたいと思います。

議会だよりは、年4回の定例会ごとに発行しています。

### 本会議の終了後、1か月半で発行する作業目安

|      |         |                                         |
|------|---------|-----------------------------------------|
| 7日前  | 第1回委員会  | 原稿の担当ぎめ                                 |
| 0日目  | 本会議     | 各委員長や一般質問者へ原稿依頼                         |
|      | 原稿作り    | 担当ごとに原稿を作成                              |
| 14日目 | 第2回委員会  | 原稿収集、全委員がパソコンでデータチェック                   |
|      |         | グーグルドキュメント（オンラインで原稿を共有し編集できるサービス）       |
|      |         | ※各委員が自宅でインターネットを活用して、原稿を校正し、時間を短縮しています。 |
| 21日目 | 第3回委員会  | 顔を合わせて原稿のチェック、写真                        |
|      |         | 初校を印刷会社へ提出                              |
| 28日目 | 第4回委員会  | 初校チェック、担当課による原稿確認                       |
|      |         | 2校を印刷会社へ提出                              |
|      |         | 委員長、副委員長、議会事務局によるチェック                   |
|      |         | 3校を印刷会社へ提出                              |
|      |         | 委員長、副委員長、議会事務局による最終チェック                 |
| 40日目 | 校正終了    | 印刷会社へ                                   |
|      |         | 印刷、製本、完成                                |
| 45日目 | 議会だより発行 | 町内の各施設へ配布（400部）<br>新聞折込（2650部）          |

議会だよりができるまで！



# 特集

## 真鶴よさこい 大漁フェスティバル

9月9日

真鶴よさこい大漁フェスティバル（主催：真鶴町元気事業実行委員会）は、平成22年10月24日に第1回が開催され今年で3回目になります。第1回の参加は11チームで回を重ねるごとに参加チームが増え、今年は17チームの参加がありました。

た。それぞれのチームによる迫力ある見事な演舞の披露を町内外から多くの観客が訪れ楽しんでいました。大空に舞うフラッグも勇壮で見ごたえがあります。最優秀賞は3年連続平塚学園高校チアリーディング部が受賞しています。

町からは真鶴町元気事業実行委員会補助費として、100万円を支出しています。そのうちよさこい大漁フェスティバルには95万円が充てられました。



## グリーンエイド

9月30日



盛んに  
盛り上がりました

今年で26回目となります。音楽を通して自然に対するマナー向上をめざすイベントです。

毎年8月に海岸清掃を行います。今年は8月12日に琴ヶ浜と三ツ石の海岸を手分けしてゴミ拾いをしました。

そして、9月にチャリティーコンサートで盛り上がりがあります。今年は台風に伴うあいにくの天気で、お林展望公園

での野外コンサートは中止となり、町民センターの室内での演奏となりました。町外も含め9チームの参加です。若い歌声が響きわたりました。

募金で集まった1万5587円は、真鶴みどり基金に寄付されました。

町からグリーンエイド真鶴実行委員会補助費として、29万円を支出しています。



# 真鶴さかなまつり

9月30日

町漁業協同組合が真鶴の美味しい魚を広くアピールすることを目的に、平成24年9月30日(日)「真鶴さかなまつり」を開催しました。

漁協定置網で獲れた魚の直売、干物、各種魚介加工品等、真鶴地物魚介類グルメ、漁協いかめし他、地魚のさつま揚げなどの販売を実施し、マグロの解体ショーでは、新鮮な切り身が大好評でした。魚のつかみ捕りでは、泳いでいる魚に触れた子どもが大騒ぎ、こわごわつかんでは、また大騒ぎでした。



ヨット乗船体験は、台風接近と雨天のために中止となりましたが、「海の学校」では、真鶴の海のプラントンの観察などを開催しました。魚のエサのプラントンを紹介し、親子で熱心に顕微鏡を観察する姿が印象的でした。

来年の「真鶴さかなまつり」を、町内で盛り上げて、さらに楽しめるよう提案していきたいよう。



マグロの解体ショー

# 海の学校

年間を通して随時

海の学校事業は、真鶴町立遠藤貝類博物館が実施している事業です。海の生きものや海岸の自然を学べる場を提供し、町内小中学校への海の授業をはじめ、町内外から遠足などで、三ツ石海岸を利用する児童・生徒に、磯の生物観察やプラントン観察、ビーチコーミング等の指導を行っています。

海の学校は、昨年度から特定非営利活動法人 ディスカバーブルーとの協働により活動内容を充実させ、展開しています。

特定非営利活動法人 ディスカバーブルーは、より多くの方に海やその生態系を理解することを通して、海の環境保全の普及啓発等を図り、いつまでもこの海と暮らしている社会の構築を目指して活動している横浜国立大学発のソーシャルベンチャーです。

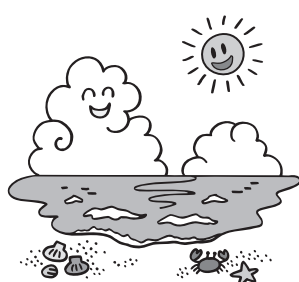
現在、ディスカバーブルーと真鶴町立遠藤貝類博物館では、「神奈川県新しい公共の場づくりのためのモデル事業」に採択され、持続可能な「人」と「海」との関わり合いを構築することを目的として、プロジェクト「Life with the Ocean まなづる」海を学び、海に親しむ場づくり」を実施しています。

このプロジェクトでは、これまで町立

遠藤貝類博物館が行ってきた「海の学校」事業の支援、広く町民や観光客を対象に「海のミュージアム」(磯の生物・プラントン観察会、水中映像上映会等)を実施し、さらに、真鶴町の小学生を対象に、海やお林などの自然を紹介する「真鶴自然こどもクラブ」を行っています。

これまでの約1年間でおよそ2500人(2012・9・1現在)の方に「海を学び、海に親しむ場」を提供してきました。また、町内の漁協、横浜国立大学、観光協会等と「海を学び、海に親しむ場づくり協議会」を設置し、海に関わる各団体と連携・協力関係を構築しています。

24年度の予算は、町から海の学校管理運営費として、13万5000円、県からは神奈川県新しい公共の場づくりのためのモデル事業として454万6000円の補助金を受けています。



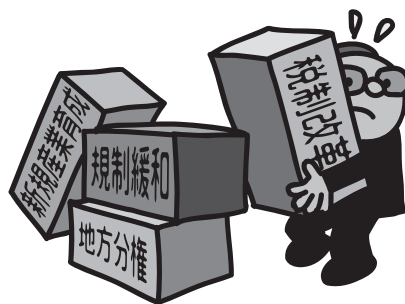
# 真鶴町の 決算報告から

決算

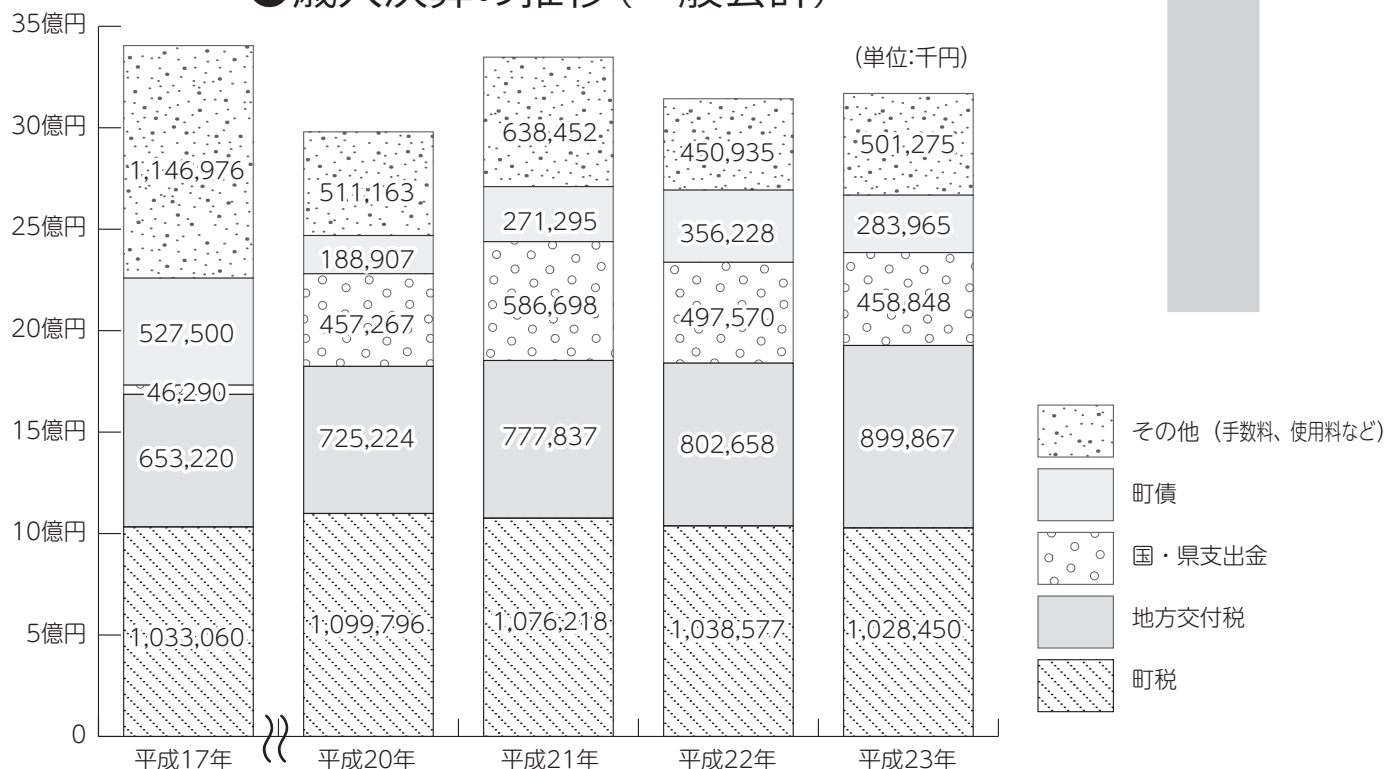
これまでの  
一般会計決算の  
推移は怎么样了  
いるの？

平成23年度の歳入は、前年度と比較すると約2600万円の増加です。  
町税は景気低迷が続く中、約1000万円の減収となりました。  
地方交付税は、国からの交付額で約9700万円の増加がみられました。国の財政は大変厳しく、財政支援が今後とも続くとは限りません。  
当町では、納税の公平公正を図るため、収納対策課が設置されたことにより、税の徴収率がそれぞれアップしています。

## 歳入

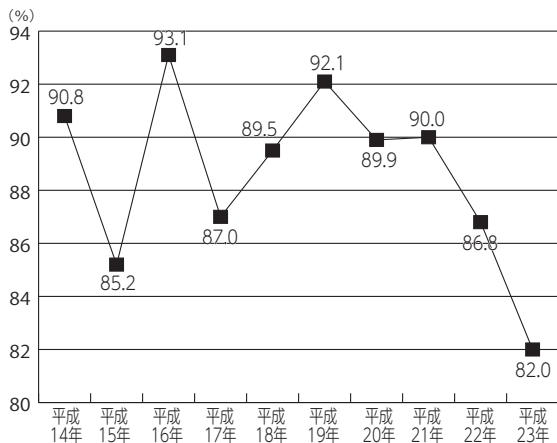


●歳入決算の推移(一般会計)

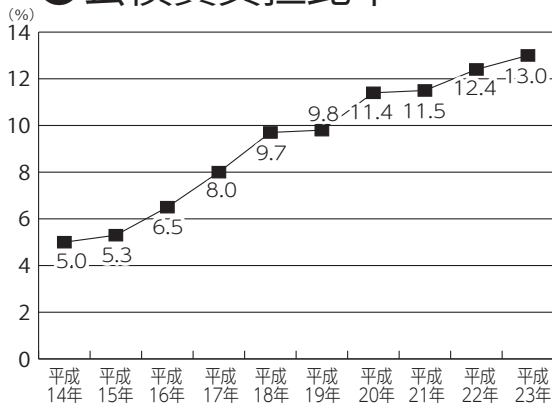




## ●経常収支比率



## ●公債費負担比率



**経常収支比率**とは財政構造の弾力性を表します。

地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源等の額が、地方税、普通交付税のように使途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される一般財源等（経常一般財源等）、減税補てん債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合。

経常的経費に一般財源等収入がどの程度充当されているかを見るものであり、比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表す。

真鶴町として90%前後を推移していたが、除々に改善が見られる。

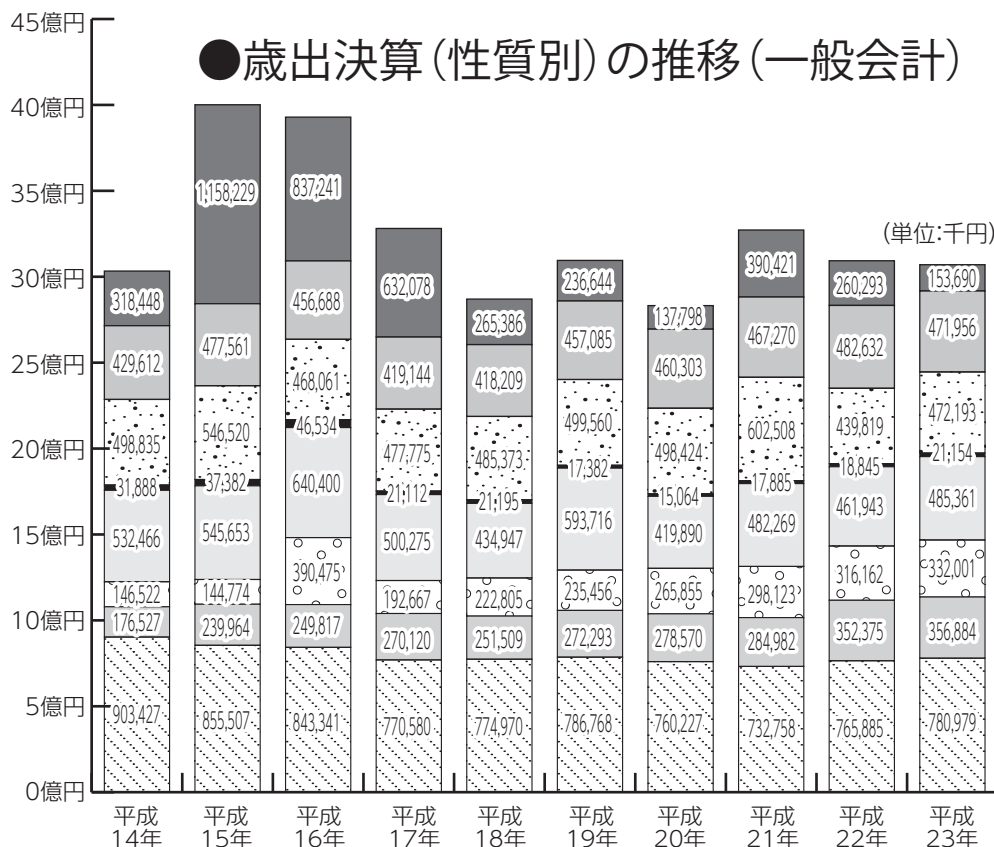
**公債費負担比率**とは、公債費（借金の返済額）の状況から、財政運営の弾力性を測定する指標。低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金が多くあることを示している。

一般財源（使途を制限されていない財源）のうちどれだけ公債費（借金の返済）に充てたかを表す。目安として、15%を超えると警戒ライン、20%を超えると危険ラインといわれている。

# 真鶴町の財政に余裕はあるの？

## 歳出

### ●歳出決算（性質別）の推移（一般会計）

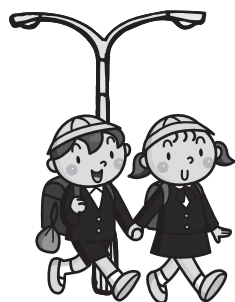


高齢化が進む中で、介護費の増加や扶助費などの固定経費の増加が顕著になっています。

若年人口増加対策など、一層の努力が必要です。



- その他
- 繰出金
- 補助費
- 維持補修費
- 物件費
- 公債費
- 扶助費
- 人件費



**町長** 行政と自治会と連携して設置場所を決めています。町民の皆様にも一軒一軒灯運動をご協力頂きたいと考えます。山の中の不要と思われるような街灯もドライバーなどに必要と考えています。

**町長** 街灯の設置場所について、地域住民の声を取り入れて再検討する必要があるのでは？  
不要な街灯もあるように思う。一灯当たり月230円の光熱費の節約になるが？

**道路照明の設置見直しを！**  
「道路照明の設置場所の再検討について」

## 村田知章議員



**電力の地域自給を高めよう！**  
「真鶴電力の設立について」

**町**では庁舎のLED照明やPPS（特定規模電気事業者）の導入などで節電による節約対策が進んでいるが、電気料金の値上げに伴い財政を圧迫する事態を危惧する。

**町長** 太陽光発電システムへの補助金を出してはいるが、さらに公共の場を活用し、電気を発電し、地域の電力自給率を高めて行く考えがあるか？



**町長** 地形、風土にあつ



自作の太陽光発電

た発電、コストや採算も考え、町としては景観団体としての配慮も必要です。まずできることから始めたいです。提案に関しては前向きに研究し検討したいと思います。個人の太陽光発電システムへの補助金については、さらなる上乗せを町として行っていきたいと思っています。

**町** 地域でお金が回るようになれば、地域が潤うが？

**町長** 真鶴町が独自で出来るかどうか検討させていただきます。

# 一般質問

## 板垣由美子議員



**高齢者を肺炎から守ろう！**  
「当町の予防支援対策について」

**町** 肺炎による死亡者は年々増加している。2011年の人口動態統計によると肺炎は日本人の死因第3位となり1年間で約12万4600人が亡くなっている。その多くは65歳以上の高齢者が占めている。抵抗力が衰えてくる高齢者にとって、肺炎は命におよぶ病気のひとつとなっているが、予防には肺炎球菌ワクチンの接種が有効とされている。1回の接種費用には6000円から8000円かかり負担が大きくなっている。肺炎球菌ワクチン接種への公費助成の考えは？



**町長** 高齢者への肺炎球菌ワクチン接種は肺炎予防効果とともに、この菌により引き起こされるいろいろな病気や感染症を予防する効果があるといわれています。本町は高齢化率が高い町ですが、お年寄りが元気でさまざまな活躍していただける場面も多く、若い人と交流を図りながら明るい地域づくりが実現できる町だと思っています。従いまして75歳以上の方への肺炎球菌ワクチン接種への公費助成を実施していきたいと思っています。

**緊急時の防災情報伝達手段の多様化を！**  
「緊急時の防災情報の提供について」

**町** 真鶴町内にいる人に対し緊急時の防災情報を一斉に伝達する有効な手段として緊急速報エリアメールあるいは緊急速報メールがある。この仕組みは東日本大震災以降多くの自治体で導入されている。当町では防災ラジオなど情報提供の手段が拡充されてきているが更に多様化される事は更なる安心安全の確保になる。当町でも早急に導入すべきだと思いませんか？

**町** 新聞報道によると子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌の3ワクチンについて定期接種化に向けた検討が行われており、更におたふく風邪、水ぼうそうなどの4ワクチンについても定期接種の検討がされているとあった。保護者への接種スケジュールなどの情報提供とサポートについては？

**町長** 予防対策充実の観点から国の方針をサポートし、法改正等国の方針が確立次第、町広報などを

通じ積極的な情報提供に努めます。

**町長** 携帯電話のエリアメール対応機種利用者の状況を踏まえると真鶴町エリア内への災害、避難情報の発信手段としては有効なものとなっています。エリアメール配信のためのインターネット接続環境及び緊急時の配信体制を整え早急に配信したいと考えています。



## 高田 昇議員



### 消防の広域化は どうするの？

「2市5町との消防広域化について」

？ 町長の今後の方針は？

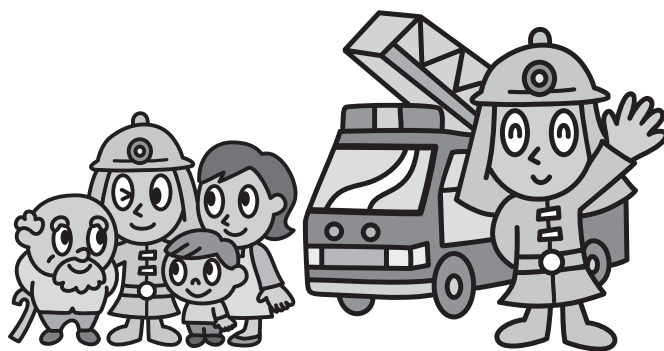
町長 人口減少、少子高齢化の社会の流れの中で、地方分権による基礎自治体は厳しい財政状況の中で運営を迫られています。

現在真鶴町は、単独では行っていない。常備消防については、湯河原町への委託をきています。

湯河原町との更なる友好関係を築きながら、広域消防を含め、調査研究をしていくことが、両町にとって幸せにつながると思っています。



消防車が行く！



## 一般質問

## 黒岩宏次議員



### 補助金を減らすな！

「県臨調の補助金等原則廃止について」

？ 神奈川県緊急財政

対策本部調査会（県臨調）は7月18日に中間報告をしている。県有施設は3年間で原則廃止することを打ちだし、補助金もすべて凍結し、ゼロベイスから見直すとしている。

県補助金には、市町村補助金、団体補助金があり対象は71%が社会福祉関連である。

町は県に対して反対を表明し、行動するべきである。町長の所見は？

町長 県が廃止決定したとしても町が同じように廃止することが難しいものもあります。

そういった補助金については、首長の意見とし

てしっかり伝えていきたいと思っています。

なお、先般開催された県説明会においても、県からの一方的ではなく市町村と個別協議しながら進めていくとのこと。

今のところ、県としては具体策は提示してないのが現状です。補助金を減らすという報告は受けていません。

### 原発反対！

「原発からの撤退、自然エネルギーへの転換について」

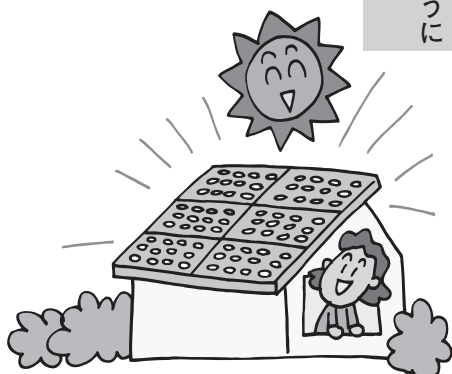
「脱原発首脳会議」への参加については評価するが、町は今後のように対応していくのか？  
自然エネルギーへの転換の推進策をどのように進めていく考えか？

町民の生命、財産

を守ることは、首長として最優先に取り組むべきことと考えています。

「脱原発をめざす首長会議」に参加し、70名の首長等とともに、まず新しい原発は作らない。

次に、できるだけ早期に原発をゼロにするという方向性を持ち、多方面に働きかけをしていく活動に参加していく所存です。現段階では、できることから実行するという姿勢で進めていきたいと考えています。



## 青木 厳議員



## 町民に開かれた診療所の

## これから？

「我が町の町立国保診療所経営と医師報酬について」

国保診療所の外来患者数、外来収入、医師の報酬について23年、24年4月から6月までの累計比較、次に、さがみ信用金庫からの今年4月からの借入金累計金額はいくらか、また、借入期間、借入れの利率について診療所長に伺う？

の方へのサービスの充実も確実になされたと考えています。



外来患者数における4月から6月までの23年度、24年度の比較ですが、内科及び外科を合わせて、23年度は4017人に対し24年度は2879人です。本年度、内科だけを比較いたしますと、23年度は1266人に対し24年度は2554人と、倍まではいきませんが、内科だけは倍増しているような状況です。

外来収入の比較ですが、23年度につきましては1812万4889円に対し24年度は1340万348円です。

医師報酬の比較ですが、23年度は657万1129円に対し24年度は1010万1080円です。次に、さがみ信用金庫からの今年4月からの借入金累計金額は1000万円で、借入期間は平成24年6月20日から平成25年5月24日までで、借入利率は年利1%です。

現在、主に診察をしていただいています劉先生については、総合内科として、また、今まで診察ができなかった小児科についても診ていただけることから、8月までの患者数は148名、延べ185名の小児科患者さんの受診があり、町民

劉医師との雇用形態と賃金の支払方法で、予算上は賃金で計上しているのだから、町と劉医師との雇用契約ということになる。報酬について、月額報酬金額はいくらで、また、支払い先はどちらか？

もし支払先が本人口座でない場合、予算上、賃金で計上された医師個人との雇用契約がなされるのに、支払先に第三者が出るようなことがあるのかどうか？

危惧することは、報酬が第三者の口座に振り込まれて、先生には振り込まれていない。または振り込まれた金額と先生が受け取る金額が、もし違ふと。このような場合に第三者が一般的に言う

と、手数料を受け取っているということになるわけだが？

契約自体は、来ていただいている先生方、事務長と臨時医師雇用契約書を締結しておりま

## 一般質問

## 神野秀子議員



## 危機管理は町民との協働作業！

「我が町の危機管理体制について」

今年度から危機管理課が設置された。特に防災対策について協働を目指す各組織との連携について今後の方針は？また、救急車の出動要請する前に電話による健康相談を促すシステム体制を新設していく考えはあるか？

地域防災計画の見直しでは、議会・自治会・学校等との連携強化とそれぞれの役割分担の明確化により、町内での迅速で確実な初動体制を確保するための計画を作り上げます。

また、救急車の出動要請に際して、軽微な出動を軽減するための「24時間健康相談システム」体制については、湯河原消防署の総合

案内が24時間対応で当番病院等の紹介をしています。

## 子育てしやすい町に！

「人口減少問題の方策について」

生産年齢人口の増加を図るため、子育て世代が住みやすいまちづくりの充実と公約である結婚対策は？また、高齢者介護施設の増加が見込まれている中、今後当町での増設に対する方針は？

「すくすく赤ちゃん子育て支援制度」や「児童保育」の実施、「子育てサロン」の開設など子育て環境の充実を図る取り組みを電話による健康相談を促すシステム体制を新設していく考えはあるか？

## いじめは悪！

「『生きる力』を育む学校での安全教育について」

通学路の交通安全の確保について、通学路における緊急合同点検の実施状況は？また真鶴町の教育現場として「いじめ問題」にどのように取り組み、対処していく考えはあるか？



子供たちが危険を回避するために判断・行動できる力を身につけることを目指した交通安全指導に取り組んでいます。ドライバールへの安全運転啓発も呼びかけていきます。緊急合同点検については、関係4部所から参加し実施しました。その中で、バス停の移動や横断歩道の設置などを改善しました。

いじめは、将来に向かって大きな心の痛みを残す心と体への暴力であり、絶対に許されない行為です。「かけがえのない一人ひとりの存在を大切に」という意識を持っていじめをなくすために学校とともに取り組んでいきます。



# 「真鶴町議会の議員定数は？」 町民の皆様のご意見をお寄せください。

真鶴町議会では7月13日の臨時会で議会改革特別委員会を設置し、現在議会改革について検討しています。そこで、今回「真鶴町議会の議員定数について」町民のみなさまからのご意見も参考に検討したいと思います。

ご意見等の募集期間 平成24年11月15日(木)～11月30日(金)

※下の□にチェックしてください。

☐今のままで良い。(現在12人)

☐変更した方が良い。(          人削減) (          人増加)

※その理由など、お考えをご記入ください。

※その他、議会改革特別委員会で検討している項目（この議会だよりNo.37の6ページ、委員会報告の中央、第2回議会改革特別委員会に掲載）についてのご意見等ございましたら併せてご記入ください。

アンケート

※議員定数については、平成25年3月議会にて上程する予定です。

議会だより等で報告しますので、個々への回答は控えさせていただくことをご了承願います。

ご協力ありがとうございました。

問い合わせ先 真鶴町議会事務局 ☎0465-68-1131(内線362・363)

〒259-0202 真鶴町岩244-1

※ご回答は、この記入用紙をご利用いただき、次の方法にてお寄せください。

◆ご意見等回収箱：真鶴町地域情報センター、真鶴町役場1階正面窓口、真鶴町議会事務局に設置してあります。

◆FAX：0465-68-5119

◆町のホームページ：議会ホームページ上にフォームを用意してあります。

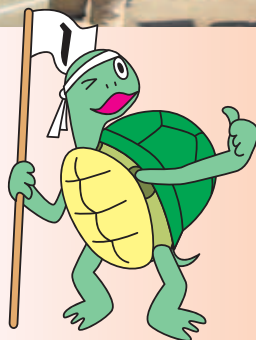
真鶴町ホームページ <http://www.town-manazuru.jp/>

# ひなづる幼稚園運動会

9月29日



9月29日 秋晴れの下、ひなづる幼稚園の運動会が賑やかに開催されました。  
今年のテーマは、「にんたまをさがせ!」です。忍者のたまごとして一生懸命に修行し、一人前の忍者になることをめざします。園児たちはおやつでござる(年少) 忍者の修行(年長)などの競技に元気にチャレンジ!保護者席からも大きな声援がとんでいました。



## 真鶴フェスティバル 1000年の森 ～つなげよう未来の子ども達へ～



9月16日

地球に調和した地域づくりをめざすイベントが、お林展望公園で開催されました。  
竹のアートや音楽やワークシヨップなど、環境と芸術がコラボレーションした新しいタイプのイベントです。  
1000年先の子どもたちに、この豊かな真鶴の森や海を贈るために、出展者が思い思いの企画を持ち寄りました。



大漁旗(よさこい大漁フェスティバル)

表紙の写真の投稿をお待ちしております。

## 編集後記

今年も余すところ二月半となりました。時の流れの早さを感じるばかりです。  
今年の真鶴町議会を振り返りますと、3月には厳しい社会情勢や議員年金廃止による自治体への大幅な財政負担を考慮し、第1次議会改革として議員自ら「議員報酬」を見直し、4月から12%の削減をして議会費で約2225万円が削減されました。また2年3ヶ月間を費やして作成した「真鶴町議会基本条例」「真鶴町議会政治倫理条例」が制定され7月より施行されています。(町のホームページにて閲覧できます)夏には「議会改革特別委員会」を立ち上げ、議会の活性化に向け議員全員で検討しています。

中でも開かれた議会運営を目指し、平日に時間が取れない方にも「本会議を録画しインターネットから視聴できるようにする」ことも考えております。

全町民の方々がインターネットを見られる環境にいるわけではございませんのでこの「議会だより」が大事となってます。再開後11回目の発行となりますが、まだまだ町民の皆様方から「わかりにくい」「説明不足」「見づらい」とご指摘を受けていますので改善できるように努力をしていく所存でございます。

今年の冬は平年より暖かいと気象庁が発表しておりますが、町民の皆様におかれましては、年末に向けお体にお気をつけますようお願い申し上げます。

議会だより編集委員会  
委員 二見 和幸

### 議会だより編集委員会

|      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 村田 知章  |
| 副委員長 | 板垣 由美子 |
| 委員   | 高田 克昇  |
| 〃    | 岩本 幸美  |
| 〃    | 二見 和幸  |
| 〃    | 青木 厳   |